

ふくしま青年海外協力隊の会

今年度、当会が主催/協力/参加した数々の事業イベントをOVのエッセイから振り返ります。

NEWS 2017 - 2018

01 会長挨拶

会員の皆さんには、この1年間も様々な活動に対してご理解とご協力をいただき、ありがとうございました。

また、会長が出席すべき場面で代わりに出席していただくことも多く、役員の方にも大変お世話になりました。

以前からある問題として、帰国隊員が福島県に残らない（残りたくても残れない？）状況があります。世の中同様、OV会も少子高齢化が進んでいます。有効な打開策、町起こしならぬOV会起こしが必要です。

そのような中で、久しぶりに行事に参加していただいた方もおり、嬉しい出来事でした。子育てや家庭の諸事情でしばらく会の活動から離れていらした方の顔を見られたことは明るい話題であり、このような方を増やすことが会の活性化へ繋がる新しい切り口になるのではないかと思います。

以前に比べ、OV会が主催する行事はずいぶん減りました。会員の職場での立場や、それぞれの家庭における役割も変わりつつあります。それでもこのOV会があることは、何かと世知辛い世の中になっている現代社会において一種のオアシスのようなものだからなのかなと思います。

特別なことをするわけでもなく2年間が過ぎましたが、改めて皆さんの活動に感謝し、OV会が永く存続することを願っています。

会長 上野 健一



Contents

01 会長挨拶

02 地球体験キャラバン

- ・第3小学校体育館
- ・本宮まゆみ小学校
- ・会津地方
- ・猪苗代町翁島ほっとくらぶ
- ・田村市都路公民館

03 エッセイコンテスト

04 震災復興支援講演会

05 わくわくワールドフェスタ in 相馬

06 結・ゆい・フェスタ 2017

07 FOCA 研修会・新年会

02 地球体験キャラバン

2017 8/26 福島第三小学校体育館

幕田 順子 (S60-1 ザンビア 理数科教師)

平成29年8月26日(土)福島第三小学校体育館で、福島市第三地区青少年健全育成推進会主催事業で集まった小学生 25 人を対象に、私の他に吉田淳平さん(ルワンダ派遣)と湯澤千里さん(サモア派遣)、県国際課のトビーさん(NZ出身)と徐さん(中国出身)の計 5 人で地球体験キャラバンを実施してきました。まず、アフリカの曲に合わせて踊りながら入場し会場内のテンションを高めた後、自国の言語を交えて自己紹介しました。

その後、3つのグループに分かれて、写真を見せたり、民芸品に触ってもらったりしながら、それぞれの派遣国での活動についてお話をしました。参加した子どもたちからは、面白かったという素直なコメントがたくさんあった中、主催者の最後のあいさつで、「皆さん、日本に生まれてよかったですね！」という言葉が妙に印象的なキャラバンでした。



発行：ふくしま
青年海外協力隊の会
発行日：2018/6/10
編集：金山忍
(H21-4 タイ 陶磁器)

FOCAの最新情報掲載中!

H P : <http://focajocv.net>

2017 9/8 本宮市立本宮まゆみ小学校

小熊 則子 (H2-3 サモア 音楽)

9月8日(金)本宮市立本宮まゆみ小学校で、6年生49名を対象に地球体験キャラバンを行いました。ゲストは、徐さん(中国)、トビーさん(ニュージーランド)、ナオミさん(カナダ)OV会からは、伊東瑞歩さんと小熊が参加しました。

今回は、学校の授業としてキャラバンを実施しました。6年生が社会科の中で「世界の中の日本」について学んでいることもあり、「福島県内で暮らす外国出身者」や「各国で暮らす日系人」について説明したり、「東日本大震災時の各国からの支援」などについても触れ、ゲストさんに自身の経験や思いを話していただきました。その後、小グループに分かれ、子どもたちがゲストと自由に話す時間を多めに取り、笑顔あふれる楽しい時間を一緒に過ごしました。福島県のHPから地球体験キャラバンの情報を見つけ、「『原則として土日実施』と書かれていたけれど、もしかしたらと思って申し込んでみました」と言っていた6学年の高橋先生のチャレンジ精神と行動力には脱帽です。先生の熱い思いが、子どもたちの学びにつながったキャラバンでした。

2017 10/21 北会津公民館

中田ひろみ (S63-2 家政 ホンジュラス)

10月21日会津方で久しぶりに地球体験キャラバンが開催されました。



当OV会からはマレーシア鈴木正人OVと私、ホンジュラスOV中田ひろみ。県からは担当の安藤氏、中国の徐さん、県費留学生のソニアさんが参加してくださいました。

いつものようにそれぞれの国の言葉で自己紹介、そのあと「本物の外国人は誰だ??」これ、燃えますね。

OVは任国の話をクイズを入れて話しました。徐さんとソニアさんはお国紹介とクイズとなりそれぞれきれいな風景写真などを披露しました。小学校低学年17人の児童たちでしたが、なんとも活発で私たちは質問攻めにあい、一人5~10分の持ち時間が派手にオーバーしてしまいました。

私は彼らと同じ学年の時に、これらのことを質問できなかつたよなあと素直に反省。確か、ひも付きの赤い三角飴玉を舐めながら缶蹴り遊びをしていた記憶が...彼らはJICA二本松訓練所を訪問し、勉強をしたそうです。

2017 11/18 猪苗代町 翁島ほっとくらぶ

木鋤 美幸 (H14-1 マレーシア 養護)

11月18日(土)猪苗代町の翁島ほっとくらぶ(子どもクラブ)の子どもたち、保護者、地域のおじいちゃん、おばあちゃんの三世を対象に行いました。OV会の方からは鈴木正人さん、中田ひろみさん、木鋤の3名が参加。県の方からトビーさん、中村さん、県費留学生のソニアさん(会津大学学生)が参加してくださいました。

日本人は何人?クイズや出身地(任地)当てクイズ等を行った後、コミュニケーションゲームを行いました。子どもたちも大人もとても積極的に参加してくれました。またその後には、出身地(任国)クイズを行い、大いに盛り上がりました。フリーな時間も設け、民族衣装を着たり、それぞれが準備した写真や様々な外国を感じ取れるものに自由に触れたりする機会を設けました。子どもたちだけでなく大人の方も興味津々でいろいろ質問していました。

最後はいも煮をご馳走になり帰ってきました。楽しい時間を共有することができました。

ご協力いただいた皆さん、ありがとうございました。

2017 12/25 田村市都路公民館

伊東 瑞歩 (H24-1 ブータン 栄養士)

田村市都路公民館で、小学1年生~6年生を対象に、OVや国際交流員等が任国・母国の紹介や海外生活で感じたことを話しました。参加OVは、川崎豊さん、坂本拓馬さん、吉田淳平さん、私を含め4名でした。各国の簡単なO×クイズでは迷いながらも楽しんで参加する様子が見られました。OVの体験談発表では、主に食文化や習慣、学校での生活についてふれたところ、各国の特徴や日本との違いに驚いた様子でした。質問コーナーでは、参加者が興味のある人の元へ行き積極的に交流していました。

笑顔あふれる参加者と接し、新しい発見や世界に目を向けるきっかけづくりができたように感じました。

03 JICA エッセイコンテスト 2018 10/15 JICA 二本松 会議室



小杉 誠 (S59-2 ネパール 体育)

今年度の審査会は、平成29年10月15日(日)にJICA二本松の会議室をお借りして開催しました。一般審査員として星真琴OGの旦那様、また、会員以外から濱田愛OGも南相馬市から駆け付けてくれたおかげで総勢8名となりました。

今回初めて審査会に参加された方は、審査への不安を口にされていましたが、審査が始まり作品を読み進めるうちに、作品比較の感覚をつかんだようで、不安は解消し順調に審査を進めていただきました。代表作の絞り込み段階では、皆さん自分の薦める作品への思いを語っていただき、無事に代表作を選出できました。審査に協力いただいた皆様ありがとうございました。

04 震災復興支援講演会 2018 1/28 京都海外協力協会

齊藤 誠一 (ふくしま青年海外協力隊の会)

1月28日(日)、京都で京都海外協力協会主催の「東日本大震災 復興支援講演会」が開催され、相馬市の高橋司OVと私 齊藤が講師を務めてまいりました。

今回は、震災後ふくしま青年海外協力隊の会が開催してきた「ふくしま応援ツアー」へ毎年京都から参加していただいていること、福島県の農産品や特産品を購入していただいたり、販売していただいたりとずっと、温かくご支援を頂いてきた京都のOV会への感謝と福島の復興の現状を伝えるために福島OV会と京都OV会の話し合いにより、今年はこちらから京都へ出向くことになりました。



京都では坂根会長はじめ、多くのOVが遠方からも参加してくださっていました。東日本大震災で被災した直後の状況を振り返るところから説明し、福島県が復興に向け取り組んできた①地震からの復興②津波からの復興③放射性物質からの復興について、話をしました。

講演会終了後は、新年会が開催され、京都のOVの中には、震災後福島県内で復興のため働いてくださった方、避難所におられる方を支援して下さったりと遠い京都の地から物心両面でサポートしていただいたことを改めて知り、あらためて感謝の思いが強くなりました。貴重な交流の機会を頂き、高橋OVと2人とても温かい気持ちで福島へと帰ることが出来ました。京都の皆様、本当に有難うございました。

05 わくわくワールドフェスタ in 相馬 2018 2/18 相馬総合福祉センター

高橋 司 (H17-2 メキシコ 青少年活動)



2月18日(日)わくわくワールドフェスタ in 相馬が開催されました。今回は、FOCA & JICA 二本松合同チームでの出展ということで、二本松訓練所から派遣される各国の国旗の缶バッジづくり、協力隊資料の配布、アラビア語での名前書き等を行いました。老若男女問わず、また沢山の海外の方もブースにお越しいただき、お気に入りの国の国旗の缶バッジを作りました。正直なところ、まだまだ協力隊に関する正しい認識や知名度は高いとはいえ、だからこそ、広報も含め、OV一人一人が地道に頑張っていく価値もあるのかなあと感じました。

JICA 二本松より所長自ら参加してくださいました。洲崎さんをはじめ、坂本さん、星さん、FOCA より大山さん、室井さん、のご協力を得て、無事終了することができました。はるばる相馬まで駆けつけてくださり、どうもありがとうございました。OVが集う、つながるだけでも、なにか起きそうな感じがします。引き続き、FOCA の風を県内各地で吹かせていけたらと願っております。

06 結・ゆい・フェスタ 2017 9/17 福島市 AOZ

渡邊 一代 (S61-3 モルディヴ 助産師)

平成 29 年 9 月 17 日(日)に福島市のAOZで恒例の“結・ゆい・フェスタ 2017”(福島市国際交流協会主催)が開催され、今年もふくしま青年海外協力隊の会は楽しく参加しました。今年は参加団体が例年より多くて、来場者は約 1500 名でした。大成功!



ふくしま青年海外協力隊の会ブースでは、恭子さんが「缶バッチ作り」を担当してオリジナルのバッチ作成に腕をふるって指導してくれました。二本松訓練所の湯浅さんは JOCV 活動展示や協力隊に関心を持っている方々への説明を担当して、小倉さんと渡邊さんは「脳トレ」や「マンカラ遊び」コーナーを担当しました。マンカラ遊びは、子供から大人までが興味を持って夢中で対戦し、無料で遊べることもあり大盛況になりました。お昼近くには布田さんが大きなおにぎりをたくさん持参して参加してくれました。吉田さんも市の仕事をしながら参加で～す。始まるまでは忙しいな～と思いつつも、みんなと一緒に活動するとやっぱり楽しくてやめられませんね。おしまい。

07 FOCA 研修会・新年会 2018 1/14 郡山アジアンバンブーン

平成 30 年 1 月 14 日(日)に、FOCA 研修会および新年会を郡山市のアジアンバンブーンで実施しました。29 年秋に、当会メンバーの荒証文 OB(昭和 44 年度 2 次隊/バスケットボール/マレーシア)が、瑞宝小綬章を受章されたのを受け、研修会では、荒 OB に「協力隊経験の社会還元について」をテーマに講演をしていただき、新年会の中ではお祝いもいたしました。今回は、福島県青年海外協力隊を支援する会の須佐会長、村田理事、平田理事にもご出席いただき、県内各地から集まった当会メンバー 21 名とともに、和やかな時間を過ごしました。

皆さんのために、荒 OB から原稿をお寄せいただきました。

「私の協力隊経験の社会還元」

荒 証文 (S44-2 マレーシア バスケットボール)

人は、経験と知恵を自分一人のものに終わらせず、人に伝えていかなければなりません。そういう意味で協力隊体験の社会還元ということ意識したことはなく、当たり前のこととして実践してきました。私たちの社会還元は、仕事を通して行うことが基本であると思っています。

まず、自分の職場で最善を尽くすこと。そして、三枚目になることです。コメディアンになることではなく、少なくとも三枚くらいは名刺を持つという意味です。

私の二枚目は、福島県障害児者動作研究会会長(現顧問)。障害児と保護者、スタッフが共に学び合う心理リハビリテーションキャンプを立ち上げ 42 年目を迎えました。その延長で、マレーシア、ベトナム、スリランカにおいても福島の間と共に展開しています。三枚目は、ストレスケア東北ネット事務局長。被災者支援のボランティア組織です。震災以来、東北の間と共に避難所や仮設住宅でストレスケアの支援を続けてきました。四枚目は、NPO 法人「ユニバーサルデザイン結」理事、誰もが暮らしやすい地域社会づくりを目指しています。五枚目は、協力隊を支援する会常務理事など。最も多忙であった現職時は、さらに 3～5 枚、ありました。「やらなければならないこと」と「やりたいこと」があると思いますが、私の場合は、ただ「やりたいこと」が多かったに過ぎません。